

清水氏庭園



指定区分	国登録記念物(名勝地関係)
読みかた	しみずしていえん
所在地	笠岡市生江浜
登録年月日	令和5年3月20日
解説	生江浜(おえはま)は福山藩が行った干拓によって寛文(かんぶん)9年(1669)に開かれた土地で、それ以前は、遠浅の海が広がっており、岩礁地帯の海岸線があった。清水氏庭園は生江浜の海岸線があった場所に築庭されており、山裾に露出する岩礁をそのまま用いて豪壮な景観を創出している。細長い園池の周囲には園路が設けられており、花崗岩(かこうがん)の露岩と転石、ツツジや松などの景観を楽しむことができる。清水氏庭園は当該地域の造園文化の発展に寄与した意義深い事例である。
アクセス方法	車:山陽自動車道笠岡ICから南進。国道2号線を西進し、生江浜交差点で北進(約15分)
公開状況	原則として年に2回、春と秋に公開日をつけて一般公開
設備	
備考	公開日のみ臨時の駐車場とトイレ利用可

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録記念物(名勝地関係)
ぶんかざいめい (文化財名)	清水氏庭園
よみかた	しみずしていえん
しょざいち (所在地)	笠岡市生江浜
とうろくしたひ (登録した日)	令和5年3月20日
せつめい	清水氏庭園は、干拓(かんたく)で陸地になった敷地に、海岸にあった岩礁(がんしょう)を取り込んで築いた庭園です。細長い池の周りに園路があり、花崗岩(かこうがん)の露岩(ろがん)や転石、ツツジや松などの景観を楽しむことができます。